日本比較文化学会中部支部

香港スタディツアー（2018年12月7日（金）～10日（月）の3泊4日）のお誘い

日本比較文化学会中部支部は来る2018年12月7日から10日の3泊4日で香港スタディツアーを計画しています。中部支部会員の皆様におかれては、この機会に国際学会への参加と海外比較文化の実践を堪能していただきたく存じます。以下この企画のご案内をいたします。奮ってご応募ください。

3つの企画があります。応募者のご都合でお好きなものをお選びください。全体では3泊4日で、途中参加、途中離脱は歓迎です。研究発表を含め、全行事日本語で大丈夫です。

1. 中部支部独自企画　香港円卓会議「テーマ：比較文化とは何か」（12月8日（土））

香港市内のレストランで夕食をとりながらテーマに沿った内容で短めの講演を参加者全員にしていただきます。この円卓会議は中部支部開設以来実施していた行事で、このたび香港で復活いたします。日時は、12月8日（土）の夕食時を予定しています。

1. 第12回国際日本語教育・日本研究シンポシウム（会期：12月8日～9日 会場：香港理工大学）でのシンポジウム参加と研究発表

12月8日と9日の会期中に香港理工大学で研究発表があります。事前審査のための要旨提出の締め切りは6月30日(土)で、採択通知は7月14日(土)です。発表するには、この事前審査を通過する必要があります。また、中部支部ではなくシンポジウムのほうへ参加費を払う必要があります。

研究発表は義務ではありません。個人で研究発表を申し込むのが一つの方法ですが、中部支部としてパネル発表も考えているので、支部宛にご相談ください。

また、事前審査で採択されなかった場合は、１．の中部支部独自企画にご参加いただいてもいいですし、シンポジウムでの研究発表と支部独自企画の両方にご参加いただいても歓迎です。

（参考）第12回国際日本語教育・日本研究シンポシウムのURL

<http://www.cbs.polyu.edu.hk/sympo2018/jp/index.php>

3．スタディツアー　（12月7日～10日）

3泊4日の期間中、2．の国際日本語教育・日本研究シンポシウムの合間に香港の見どころを周遊いたします。交通機関の利用は行き先に応じて適宜決定します、交通費、食事代、入館料などの経費は実費といたします。香港の現地ガイドを雇用しませんが、現地の事情に詳しいかたが随行いたします。

航空チケット代、宿泊代、海外旅行保険代

　　中部支部では航空チケット、宿泊、海外旅行保険について代理店に依頼しません。参加者がご都合に従って準備していただきたくお願いいたします。応募者が確定した後、中部支部担当者が搭乗する航空機の乗降地・航空会社名・便名、ホテルの名称と連絡先をお知らせいたします。

このスタディツアーの概算をお示しいたします。航空券（LCC（ローコストキャリア）で3.5万円、FSC（フルサービスキャリア）で5.5万円程度）、宿泊（3泊で5万円程度）、参加費（1.5万円）で、費用概算10～12万円、これに現地交通費・食費などが別途かかります。

応募方法

参加をご希望のかたは、中部支部担当宛てにお申し込みください。その時に上記１．2．3.について参加・不参加あるいはその他の条件・コメントを添えいただきたく存じます。中部支部会員の皆様に向けた企画ではありますが、中部支部会員ではない皆様にもこの機会を提供いたしたく存じます。第1期の締め切りを、6月10日（日）といたします。特にシンポジウムで中部支部としてのパネル発表への参加にご関心のあるかたは、この第1期の締め切り日までに申し込み願います。

第2期（最終）の申し込み締め切り日については、追ってお知らせいたします。

お問い合わせも受け付けております。奮ってご応募お願いいたします。

2018年5月12日

日本比較文化学会中部支部長　白鳥絢也

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　香港スタディツアー担当　澤田敬人

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　同　樋口謙一郎

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　同　岩塚さおり

応募・お問い合わせ（担当・澤田）

メール　[sawada@u-shizuoka-ken.ac.jp](mailto:sawada@u-shizuoka-ken.ac.jp) （担当・澤田）